



# 三島町ならではの学びの体系化 地域で学び地域で育つ

[教育目標]

心豊かな生徒  
自ら学ぶ生徒  
たくましい生徒

## 桐の里だより

令和4年2月号  
三島町立三島中学校  
校長 関根宏房  
ホームページURL  
<https://mishima.fcs.ed.jp/>三島中学校



ホームページ  
掲載した  
学校紹介  
は、版も  
オリジナル  
です。ご  
利用は、  
歓迎です。

二月に入ると、三島中の子どもたちは、学年ごとに半日ずつ生活工芸館に行き、木工教室として、桐を材料とした作品の制作を行います。美術科の授業の一環ですが、ご指導いただくのは、生活工芸館で桐製品を手がけている専門家のみなさんです。

世界に誇る三島の品質、三島の技術を、惜しげもなく子どもたちに教えてくださいます。こんな贅沢なことは他にあるでしょうか。

桐の里に生まれ、育った子どもたちは、この他にも、小学校、中学校それぞれで、桐の学習、森林環境学習ののみに、桐とはどんな植物なのか、どのように栽培するのか、どう加工するのかを、やはり三島の誇る専門家から教える受け継ぎます。学校教育の中で、これほど身近に本物の、専門家から教える受け継ぐことができる環境は、なかなか整えることはできません。それが三島にはあります。

ただ、残念なのは、それぞれの学びが、並行的に行われており、それぞれで完結してしまっているところですね。保育所、小学校、中学校と、学びの時間を合わせる連のある学びを学校とそれぞれの専門家の方々と繋ぎ、体系化すれば、充実した学びとなり、中学校の最終学年では新製品の開発に関われる可能性もあると考えます。こうして学んだ子どもたちの中から、後継者が出ないとも限りません。

小学校で行われている田んぼの学校、おぼあちゃん味の味。中学校から見ると、とても魅力的な活動で、羨ましい限りです。農業は技術・家庭科の技術領域で、食育、調理は、家庭領域で学習します。しかし、どちらの領域に關しても、三島中には専門の教師はおらず、現在、専門外の教師が指導をしています。

三島産の食材を使った郷土料理、親から子へ、子から孫へと繋がる三島の味。様々なコンテンツに参加して、新しいメニューの開発も期待したいですね。三島名物のスイーツも生まれそうです。

Society 5.0の時代では、スマート農業は必須です。AIとの共存で生きる子どもたちには、すべてのものが教材です。保育所、小学校からの経験を効率よく繋ぎ合わせれば、より高いレベルでの学びが、中学生の段階で可能になります。

サイノカミ、虫おくり、鳥追い、雛流しなど、伝統行事も学びの場です。スキー教室、すってんころりんピクニックなど、ウインタースポーツも、専門のインストラクターに教えるをいただいています。

ひと昔前までの学校と違い、学校は、学校の中だけでの完結ではなく、広く地域の中で学ぶことを望んでいます。地域とのコラボをためらわない、これが、三島中学校の教育方針の一つです。だからこそ、次世代の議会が実現しています。コロナが落ち着いたその時には、もっともつと地域の皆様とともに、町の子どもたちの成長に取り組みたいものです。

# 三島の冬の風物詩 クロスカントリー 保健体育の授業

雪国ならではの楽しい授業



「こんなに雪が積もったのに！」  
 今年は豊富な積雪にもかかわらず、子どもたちが楽しみにしていたスキー教室を実施することができませんでした。  
 二月四日のスキー教室を間近に控えた一月末、近隣町村のコロナ感染状況が厳しくなり、実施見送りとなりました。  
 しかし、この時期、保健体育では、クロスカントリースキーを取り入れた授業を行います。雪と向き合い、自然と向き合い、目の前の課題を考え、解決し、前に進む。雪国ならではの学びがここにはあります。

毎年行われている、スキー教室は、クロスカントリースキーとはまた違った学びがありますが、じっくりと時間をかけて、雪と向き合えるのは、この体育の授業なのかも知れません。現在、保健体育を担当している甲斐 史(かい まなぶ) 教諭は、スキーを専門としており、今年度は、福島県の中体連スキー競技専門委員長をしています。ここにまた、偶然の恵まれた環境が存在しました。今、冬季五輪・北京オリンピックが開催され、連日、日本選手の活躍を目にします。幼い頃から取り組んだからといって、オリンピック選手になることができるのは、ほんの一握りだと思いますが、日常的に雪と向き合い、雪を理解できた者ができることは、他にもあると思います。雪国育ちだからこそできる、雪を味方にしたこと。未来をつくる十年の学びを確立させるのは、大人の役目ではないでしょうか。



## 今月の1枚



三島中 チーム・パシュート  
 北京オリンピックに負けるな！



心の中の鬼を追い払え！

毎年恒例、生徒会による節分の豆まき。今年もまた、ゲームや動画にばかり気がとられ、勉強から逃げてしまう自分の、心の弱さに立ち向かうべく、心の鬼との闘いの時がやってきました。  
 鬼に扮した生徒会の執行部員。あまりの可愛らしさに終始笑顔に包まれた、心の鬼払いとなりました。もう春がそこまできています。